

## サブゼミ開催のお知らせ

---

### 日本古代史料の講読

担当：研究推進員 荒木 志伸・渡辺 滋（日本史）

下記の要領で、3回にわたり、古代の文字資料全般を扱い、実施します。予習は不要で、当日渡した史料をその場で読み込んでもらい、研究推進員が解説する形式を取ります。なお漢和辞典などは、各人が持参してください。

#### 記

日時： 2010年3月5日，12日，19日（金曜日）  
14：40～17：50

場所： リバティタワー 20階 120P教室

概要： 第1回(3月5日) (1)語彙・語法 I (担当：渡辺)  
(2)出土文字資料 入門 (担当：荒木)  
第2回(3月12日) (3)語彙・語法 II (担当：渡辺)  
(4)出土文字資料の講読 (担当：荒木)  
第3回(3月19日) (5)語彙・語法 III (担当：渡辺)  
(6)文献史料の講読 (担当：渡辺)

(各回の内容)

「語彙・語法」 ((1)・(3)・(5))

古代の文字資料に頻出する語彙・語法について説明します。I～IIIの順で難しくなります。

「出土文字資料 入門」 ((2))

漆紙文書・木簡・文字瓦・墨書土器といった様々な出土文字資料について、最新の研究成果をもとに、映像資料などを用いながらわかりやすく説明します。

「講読」 ((4)・(6))

(4)では、歌木簡（和歌が記された木簡）を題材に、日本語表記（万葉仮名や読みなど）の問題、さらには韓国木簡などとの比較について説明します。(6)では、代表的な文献史料の講読を行います。

以上